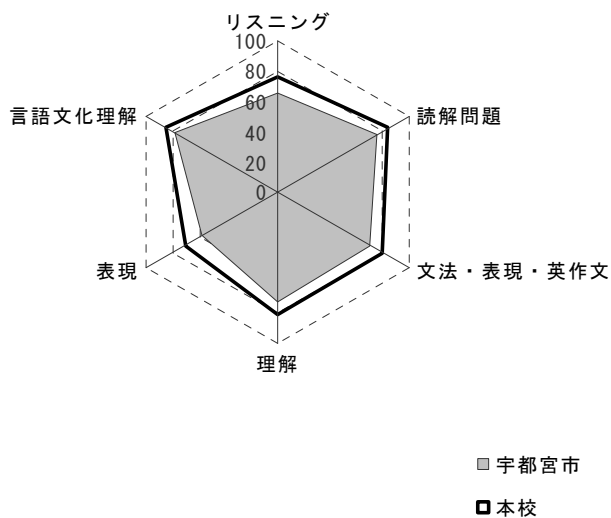


3 学年英語

1 結果

(1) 領域別・観点別平均正答率（宇都宮市と本校の状況）

■平均正答率

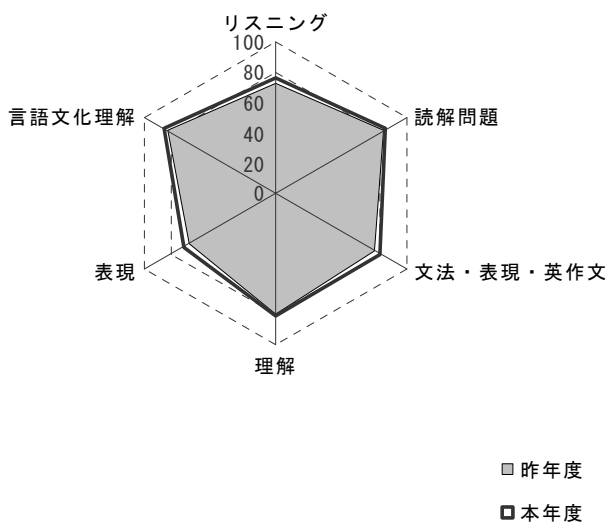


		宇都宮市	本校
領域別	リスニング	65.8	75.6
	読解問題	75.4	84.0
	文法・表現・英作文	70.7	79.5
観点別	理解	72.7	81.2
	表現	57.1	69.9
	言語文化理解	78.2	85.3

受検人数	宇都宮市	本校
	3783 人	208 人

(2) 領域別・観点別平均正答率（平成18年度と平成17年度の状況）

■平均正答率



		本年度	昨年度
領域別	リスニング	75.6	73.0
	読解問題	84.0	81.7
	文法・表現・英作文	79.5	76.8
観点別	理解	81.2	79.4
	表現	69.9	65.9
	言語文化理解	85.3	81.9

受検人数	本年度	昨年度
	208 人	227 人

※平均正答率の状況から、今後指導の重点を置くべき領域や観点を明らかにし、指導の工夫・改善を図っていきます。

2 指導の工夫・改善

領域	昨年度の状況と本年度の傾向	今後の指導の重点
リスニング (75.6%)	昨年度の正答率 (73.0%) を 2.5% 上回った正答率であった。市の平均を 9.8 ポイント上回っている。	身につけている基礎・基本の力を生かして、さらにコミュニケーション能力の育成を図っていききたい。またALTとのチームティーチングを活用するなどして、リスニングの力をさらに伸ばしたい。
読解問題 (84.0%)	昨年度の正答率 (81.7%) より 2.3 ポイント上昇し、市の平均を 8.6 ポイント上回っている。他の領域に比べて、優れている。	身につけている基礎・基本の力を生かして、さらにコミュニケーション能力の育成を図っていききたい。予習・復習などの家庭学習の習慣を身につけさせると共に、語彙力を高めたい。
文法・表現 英作文 (79.5%)	昨年度の正答率 (76.8%) より 2.7 ポイント上昇し、市の平均を 8.8 ポイント上回っている。観点別では、表現の観点が市の平均を 12.8 ポイント、理解の観点が 8.5 ポイント、言語文化理解の観点が 7.1 ポイントそれぞれ上回っている。	身につけている基礎・基本の力を生かして、さらにコミュニケーション能力の育成を図っていききたい。チームティーチングなどを通して、生徒ひとりひとりに細やかな指導を行ったり、具体的な場面で英語を使う活動を通して、より豊かな表現力を身につけさせたい。